



潜水訓練を実施



館林地区消防組合では、潜水士資格を有する職員を対象に、令和7年9月16日（火）、館林消防署訓練用ピット（深さ約3メートル）を使用して訓練を実施しました。

本訓練は、潜水救助技術の向上を目的とし、基本動作の確認を中心に行いました。

水難救助に伴う出動は年間数回に限られますが、実際の潜水活動は常に危険を伴います。そのため当組合では、今後も定期的に潜水訓練を継続し、知識と技術の一層の練磨に努めてまいります。

